



高校生 ライター 募集！！

さいたま市のいいところ
取材して記事にしませんか？

【活動内容】

シティセールスWEBサイト
「いいじゃん！さいたま」に掲載する、
市の魅力を紹介する記事を作成してもらいます。

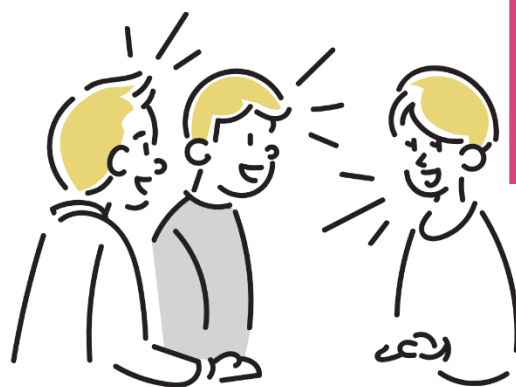
記事テーマの例

気になる
スポット
紹介

イベント
参加してみた

グルメ
レポート

さいたま市の
ここが好き



【募集期間】

6月16日(金)まで

【募集人数】

最大4～5名程度。
部活動単位での申し込みも可能です。

「いいじゃん！さいたま」とは？

昨年度オープンしたばかりの、
さいたま市のさまざまな魅力が、
ぎゅっとまとまったWEBサイトです。



詳しい募集情報は裏面へ。

【スケジュール案】

5月～6月中旬

参加者募集

7月上旬

参加者決定

8月～9月

活動・取材

10月～

記事掲載（頻度は要相談）

その他

取組の概要は、新聞社などのメディアで紹介される可能性があります。

スケジュールはイメージです。参加者が確定次第、学校行事等の予定を見ながら、調整します。

【応募方法】

6月16日(金)までに、以下のQRコード先の申込みフォームから、必要事項を記入の上、送信してください。

申込みフォーム
はこちら



【問合せ先】

さいたま市役所
都市経営戦略部シティセールス担当
E-mail: toshi-keiei@city.saitama.lg.jp
TEL: 048-829-1034
FAX: 048-829-1997

記事掲載イメージ

いいじゃん！
さいたま



こちらからも
お読みいただけます



メディア

2023.3.22

女性三人による合同会社十色（いろ）つくっているのは唐辛子と見沼田んぼの未来

見沼田んぼで「農」を始めた三人の女性たち

2021年3月、見沼田んぼで三人の女性が就農、「合同会社十色」を立ち上げました。サカール祥子さん、釘宮愛さん、松原早智さんがつくっているのは唐辛子、そして見沼田んぼの未来です。



▲今回取材に訪じてくれた
サカール祥子さん（左）と釘宮愛さん（右）

三人の出会いは、見沼田んぼで親戚事業を営むNPO法人、そこでの物吉のある方との農作業や農家と福祉をつなぐ活動、農業体験イベントの開催などを経て、三人は事業として農業を始めることを決断しました。見沼田んぼを守りながら、様々な人が集う場をつくってほしいと考えたからです。

しかし、新規就農には大きな壁が、それは農地の確保。田んぼや畑の維持・管理には知識も経験も必要で、農業経験の少ない三人に、農地を貸してくれる人はなかなか見つかりませんでした。ようやく見沼田んぼや新森林の保全活動を行うNPO法人見沼保全じゃぶじゃぶつづらによって土地の所有者や地元の方とのつながりを得て、まずは試した際の管理を任せてもらうことに、一年後、正式に農地を借りての就農が実現しました。



▲42種類の唐辛子は、それぞれ生産に熟した時期が異なる

見沼田んぼを未来につなげていきたい

就農から十年、十色がつくっているのは世界各国42種類の唐辛子です。今でこそ「さいたまを誇る聖地に！」という目標を掲げていますが、実は最初に栽培した野菜は、元は沼地だった見沼田んぼの土に合っている里子でした。しかし、里子は新規就農者が収益を上げるためにはコストがかかりすぎたため、色々な野菜を試す中で「これだ」と思えたのが唐辛子でした。初めて栽培した唐辛子の「野菜」としての美味しさに感動し、詳しく調べてみると、唐辛子は数百年を超える歴史があること、世界中で広く栽培されていること、そして江戸時代には見沼田んぼでも栽培されていたことがわかりました。さらに現在の日本では生の唐辛子の流通は少なく、ニッポンだけ産地がある野菜であることもわかり、さいたまヨーロッパ野菜研究会や市内の飲食店などへ人脈を広げています。